



NPO Honokuni
Forestry Association
Forest

フォレスト NPO (特定非営利活動法人)
Vol. 111 穂の国森づくりの会

〒440-0888
愛知県豊橋市駅前大通三丁目53番地
太陽生命豊橋ビル2F
Tel. 0532-55-5272 Fax. 0532-55-5276
E-mail: honokuni@honokuni.org
https://www.honokuni.org/

レジ袋が有料になってから1年が経ちましたが、森のゴミは減ったでしょうか。私の感覚では増えていて、さらに質が悪くなっているようにしか思えません。特にウッドパーク平尾や穂の国石巻の森のような街に近い森では顕著です。

レジ袋有料化以降、おにぎりやサンドイッチの包装、弁当のトレー、パンや菓子の袋、ペットボトルなど、それぞれが散乱して捨てられるようになりました。有料化前は、レジ袋の中にまとめて捨てられていたゴミが多かったのですが…。ゴミ拾いの労力が増えて、肝心の森林整備が進みません。

今度はプラスチックのスプーンやフォークなども有料化になるそうですが、はたしてそれで森のゴミは減るのでしょうか？

(もりみの)

令和3年度の事業概要を紹介します！

令和3年6月3日(木)、豊橋市民センター(カリオンビル) 6階多目的ホールで第21回定時総会を開催しました。令和2年度事業報告及び収支決算報告と令和3年事業計画及び収支予算案などのすべての議案が承認されました。

そこで、令和3年度の事業について紹介します。

森林整備活動

① はじめての森づくり体験 ……………

初心者や親子で気軽に**楽しく森林ボランティア活動ができる体験イベント**を穂の国みんなの森や愛知県民の森で開催します。

② プリティフォレストクラブ活動 ……………

個人会員有志で結成された本格的な森林ボランティア活動です。本年度も新城市出沢(すざわ)地区で徐間伐を、11月から3月の週2回開催します。(水曜と土、日曜のいずれか)。**新規参加者大歓迎です！**

③ 穂の国みんなの森活動 ……………

(自然林再生プロジェクト事業①)

設楽町西部の段戸国有林にある原生林「きららの森」に接する人工林伐採跡地(約2.4ha)で、自然林(落葉広葉樹林)の再生に取り組んでいます。



定期活動は4月～11月の週2回(水曜と土、日曜のいずれか)に開催しています。

④ 穂の国石巻の森活動 ……………

(自然林再生活動プロジェクト事業②)

豊橋市東部の豊橋国有林内にある風倒木災害跡地で、自然林(常緑広葉樹林)の再生に取り組んでいます。



環境貢献活動やSDGsに取り組む団体企業会員さんにお勧めの少人数でも参加可能なフィールドです。

⑤ ウッドパーク平尾活動 ……………

里地の森の再生に取り組んでいます。植樹エリアの下刈り、ピオトープのエリアの維持管理を行っています。また、エリア内の生物調査(特に水辺の生物)を調査し、その成果を解説したパンフレット等を作成する予定です。



また、親子向けの自然ふれあいイベントや初心者アウトラド講座、個人・小団体向けの健康づくり講座を開催予定です。**定期活動日は、毎月第3土曜日です。**

環境教育活動

①森林環境教育支援事業

東三河地域の小学5年生を対象に、森林の多面的機能や林業、木材の話などを小学校に出向いて説明する「訪問授業」を関係機関と連携して実施します。



また、これまでの野外教育活動支援のノウハウを活かし、教育機関からの野外教育活動の支援要請があれば積極的にサポートします。

下記のウェブサイトからお申込みください。

▶ <https://www.honokuni.org/wp-content/uploads/2019/06/houmon.pdf>

②森に親しむ自然観察会

多くの市民に森林地域の自然や自然資源の良さを実感していただくため、自然観察会を三河生物同好会等と連携して開催します。本年度は、宇連川沿いを中心とした自然観察会を予定しています。



木育推進、木材の利用拡大活動

豊橋木材商工協同組合等と連携して、東三河地域内で開催されるイベントでブース出展し、幼児でも簡単に作成することができる木工教室を開催すると同時に、木材の利用を啓発します。



森づくりサポート事業

①「寄付型自動販売機」啓発活動

(株)サン・カンパニーの全面的な協力のもと、東三河地域の各所に会の活動がラッピングされた自動販売機を設置し、会の啓発活動を行うことができます。この自動販売機の売り上げの一部は会に寄付されます。企業・団体さんの環境貢献活動の第一歩に最適です。詳しくは、ウェブサイトをご覧ください。

▶ <https://www.honokuni.org/wp-content/uploads/2019/06/benda.pdf>

②森づくりサポート事業

企業・団体さんが取り組む森づくり活動や森林空間の利活用に対し、作業指導やイベント企画、サポートします。



また、SDGsへの取り組みを表明している企業・団体さんにも、フィールドワークに限らず、研修や講演会等を柔軟に提案します。

『森林情報センター構想』PT活動

「森林情報センター」は東三河地域の木材生産を中心とした森林情報だけではなく、森林環境学習^{注1}や森林リクリエーション^{注2}等、様々な森林活用情報の集約発信機関となり「山村都市交流拠点施設」の一部として機能すべく、関係諸団体等に提言していきます。

また、「森林情報センター」が東三河地域の官民連携によって実現される具体的なプランを作成し、関係諸団体等と連携し、具現化するよう働きかけます。

※PT：プロジェクトチーム

注1：森林の多面的機能、健全な水循環、防災、生態系保全、SDGs、ダム機能について等

注2：アウトドア、キャンプ、トレッキング、オリエンタリング、トレイルランニング等

フォレスト編集局

①機関紙「フォレスト」の発行

会の活動の情報発信を行う機関誌「フォレスト」vol.110～vol.112の編集と発行を行う。森林に関する世界的な情報から奥三河地域の最新情報も発信する。

②ウェブサイト・SNSによる情報発信

穂の国公式ウェブサイト

▶ <https://www.honokuni.org/>

ブログ

▶ <https://honokuni97.exblog.jp/>

フェイスブックページ

▶ <https://www.facebook.com/honokuni.morizukuri/>

(ウェブサイトのトップページでも閲覧できます)

穂の国自然観察

三河生物同好会と穂の国森づくりの会が共催して開催してきた自然観察会の様子を紹介します

その20
「苗木城・恵那峡」
中西 正

秋の恵那峡自然観察会

2009.10.4

今回の自然観察会のテーマには「自然の要塞、苗木城（なえぎじょう）散策と恵那峡の奇岩散策」とあった。資料の一節には「苗木城は中津川有料道路の城山大橋より少し北側に行った木曽川べりにある。現在は石垣を残しているだけであるが、城址内で一番高い天守閣址に立つと、眺めは絶景で、眼下に木曽川がゆったりと流れている。恵那峡の上流部にあたり、深い谷間が形成されている。木曽川の向こう側は中津川の市街地が続き、根ノ上高原・恵那山・笠置山・二つ森山などを臨むことができる。苗木城は「苗木の赤壁城」と呼ばれ、昔、木曽川に棲んでいた龍が白色を嫌い、天守閣を白色に塗るとこれを剥がして赤壁をむき出しにしたという伝説による」というような説明があった。



▲ 苗木城の天守閣址

苗木城は上記資料のように、立派な石垣が残っている。城跡には、この地方の二次林を構成する樹木が生えている。大きくなっている木にはアベマキ、アカガシ、コナラなどがあり、低い木にはネジキ、ヤブツバキ、シキミなどがあつた。石垣の隙間に生えているものにはトラノオシダ、ミツデノウラボシ、シノブなどがあつた。シャガも見られたが、この植物は日本のアイリスで、アヤメの仲間だ。葉は細く、光沢がありやや垂れ下がる。春には薄紫色の花弁に、黄色、橙色の複雑な模様を持つ綺麗な花をつける。城跡の堀などによく見られるが、垂れ下がった葉が、人を上りづらくさせるためという。この苗木城址のシャガもそんな目的を持って植えられた植物だったのだろうか。

大井ダムによってできた恵那峡、その人造湖岸には多くの奇岩があるという。私たちはさざ波公園



▲ 傘岩



▲ 千畳敷岩

周辺を散策したが、この部分にも奇岩はあり、「傘岩」は国の天然記念物になっているほどだ。私の印象は傘というより巨大なキノコといった感じだった。「千畳敷岩」は巨大な一枚岩で、花崗岩でできている。恵那峡一帯が花崗岩で、これが風化して奇岩を作っているのだろう。対岸には「紅岩」があつたが、これは形でなく色が着いた点が面白かつた。これは赤というより橙色といった方が説明しやすかつた。この周辺にはアベマキの巨木があつた。アベマキはクヌギに似るが、その葉の裏には細毛が密生し、白く見える。また樹皮は厚く、コルク質が発達している点で区別できる。散策したコース中にはアカマツ、ソヨゴ、アオダモ、ミツバツツジなどがあつた。秋の花としてはノコンギク、アキノキリンソウが咲いていた。

今回の講師は神戸先生、内藤先生だった。ただ計画したのは熊谷尚久先生だった。残念なことに、先生は2009.3.19にお亡くなりになりご指導いただけなかつた。先生は元高校の化学の先生で、植物の調査は教員になった直後から始められた。その調査の範囲は愛知県の全域で、それに加えて三重、岐阜、静岡にもわたつた。これらをまとめて『三河の植物』を著わされている。本会の観察会でもその経験の基に案内してくれており、その際には詳細な資料を提供して下さつた。冒頭で引用した資料もその一部である。先生のご冥福をお祈りします。



イベント インフォメーション

会員の方はもちろん、会員のご家族やご友人等どなたでも申し込み可能です。
参加ご希望の方は、申し込み方法等をご確認の上、穂の国森づくりの会事務局までご連絡下さい。
E-mail honokuni@honokuni.org FAX0532-55-5276 TEL0532-55-5272



秋の宇連川沿いを歩く 自然観察会

共 催：三河生物同好会
場 所：新城市 宇連川沿い（川合～榎原）約5km
集 合：午前9時に豊橋信用金庫 駅前お客様相談所前
解 散：午後5時に豊橋信用金庫 駅前お客様相談所前
対 象：どなたでも（中学生以下は保護者同伴）
定 員：20名（当会会員優先、申込み順）
参加費：3,500円
内 容：宇連川沿いの紅葉を楽しみながらの自然観察会
持ち物：昼食、飲料、タオル、敷物等
その他：雨天中止（小雨でも）
申込み：参加希望者全員の住所、氏名、電話番号を事務局へご連絡ください。

定期活動やっています！ 「ウッドパーク平尾」

●毎月第3土曜日

令和3年度：9月18日、10月16日、11月20日、12月18日

集 合：午前10時にウッドパーク平尾
解 散：自由（作業は午前11時半に終了します）
対 象：個人会員（家族可）、団体企業会員
内 容：草刈り、生き物調査、獣害防止ネット補強等
持ち物：飲料（9月は多めに）、軍手、タオル
その他：雨天中止（小雨でも）
申込み：不要ですが、事前に事務局へ連絡をいただければ有難いです。

※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、延期や中止する場合がありますので予めご了承ください。

企業の森づくり応援します!!

- 森林整備の作業指導
- 作業道具の貸し出し
- 森林での環境学習会の開催
- 東三河産材を使ったイベントの企画
- 森林を活用した社員研修など

簡単な質問でも結構です。
事務局までお気軽にお問い合わせください。

一緒にSDGsに 取り組みませんか？



会社・団体としてSDGsに取り組みたい。
でも、何から始めたらいいのかわからない。
穂の国森づくりの会では、多くの企業・団体と
協働でSDGsに取り組んでいます。
詳しくは、事務局までお気軽にお問い合わせください。



家庭用空調工事 業務用空調工事



～FCブランドを通して
地域社会に貢献する～
株式会社 経真

- ダスキン豊橋牛川支店 (0532) 54-8877
- ダスキンあけぼの支店 (0532) 37-5211
- ダスキンヘルスレント豊橋ステーション (0532) 57-5550

私たちと一緒に森へいきませんか？
穂の国森づくりの会会員大募集!!
<https://www.honokuni.org/>

会の趣旨にご賛同いただき、年会費1口以上ご負担いただきますと、どなたでも会員になることができます。
会費：個人会員1口・3,000円／団体企業会員1口・12,000円
入会に関するお問合せは、穂の国森づくりの会事務局まで
Tel. 0532-55-5272 E-mail honokuni@honokuni.org